

# 日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・ グローバルCBファンド

(為替ヘッジなし)

【運用報告書(全体版)】

(2018年10月27日から2019年10月28日まで)

第 **4** 期

決算日 2019年10月28日

## 受益者の皆さまへ

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として、世界の企業が発行する転換社債等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

### ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2015年10月30日から2025年10月27日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として、世界の企業が発行する転換社債等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 グローバルCBファンド(円ヘッジなしクラス) 世界の企業が発行する転換社債等 マネー・マーケット・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として、世界の企業が発行する転換社債(以下、「CB」ということがあります。)等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 ■投資対象とする外国投資信託証券の実質的な運用は、CBの運用に強みを持つエドモン・ドゥ・ロスチャイルド・アセット・マネジメント(フランス)が行います。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■年1回(原則として毎年10月26日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## 三井住友DSアセットマネジメント

(旧:三井住友アセットマネジメント)  
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

### ■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ

お取引のある販売会社へお問い合わせください。

### ■当運用報告書についてのお問い合わせ

フリーダイヤル 0120-88-2976  
受付時間: 午前9時~午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## ■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) トムソン・ロイター・ グローバル・ フォーカスCBインデックス		債券組入率	投資信託証券 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	(円ベース)	期中 騰落率			
(設定日) 2015年10月30日	円 10,000	円 —	% —	100.00	% —	% —	% —	百万円 18,653
1期(2016年10月26日)	8,524	0	△14.8	86.74	△13.3	0.0	98.0	13,267
2期(2017年10月26日)	9,989	300	20.7	101.51	17.0	0.0	97.7	5,031
3期(2018年10月26日)	9,263	0	△7.3	96.53	△4.9	0.0	98.0	2,720
4期(2019年10月28日)	9,157	0	△1.1	99.37	2.9	0.0	97.6	1,967

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※トムソン・ロイター・グローバル・フォーカスCBインデックス（円ベース）は、前日の指数を用いて、設定時を100として2019年10月28日現在知りえた情報にもとづき指数化した当社計算値です。

※トムソン・ロイター・グローバル・フォーカスCBインデックス（円ベース）の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

## ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		(参考指数) トムソン・ロイター・グローバル・ フォーカスCBインデックス		債券組入率	投資信託証券 組入比率
	騰落率	騰落率	(円ベース)	騰落率		
(期首) 2018年10月26日	円 9,263	% —	96.53	% —	% 0.0	% 98.0
10月末	9,286	0.2	96.77	0.3	0.0	98.2
11月末	9,338	0.8	98.12	1.7	0.0	97.9
12月末	8,877	△4.2	93.70	△2.9	0.0	97.8
2019年1月末	8,999	△2.9	96.49	△0.0	0.0	98.7
2月末	9,228	△0.4	100.28	3.9	0.0	97.9
3月末	9,201	△0.7	99.36	2.9	0.0	98.4
4月末	9,400	1.5	101.42	5.1	0.0	97.9
5月末	9,030	△2.5	97.49	1.0	0.0	97.5
6月末	9,144	△1.3	98.37	1.9	0.0	97.1
7月末	9,262	△0.0	99.86	3.5	0.0	98.2
8月末	8,915	△3.8	96.24	△0.3	0.0	98.4
9月末	9,079	△2.0	97.61	1.1	0.0	98.3
(期末) 2019年10月28日	9,157	△1.1	99.37	2.9	0.0	97.6

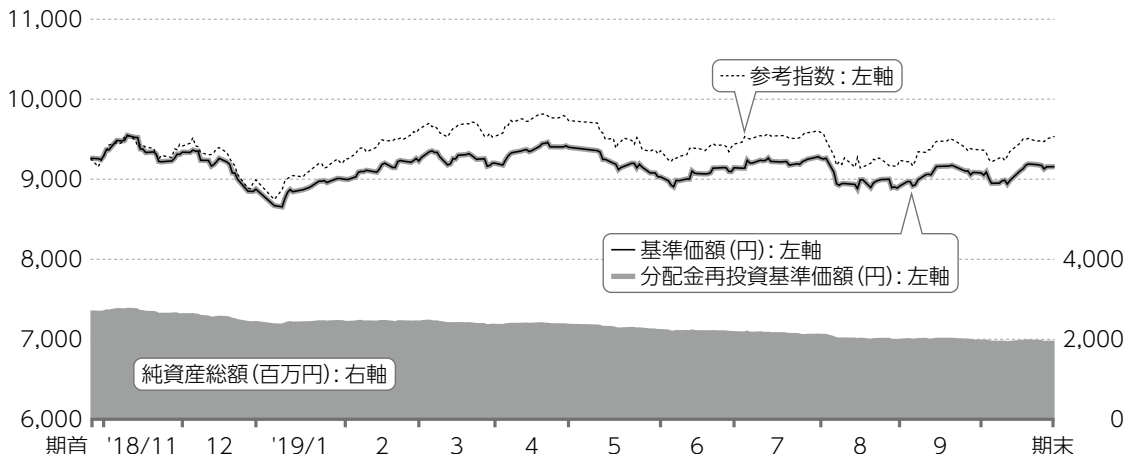
※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2018年10月27日から2019年10月28日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額および参考指数は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	9,263円
期末	9,157円 (分配金0円(税引前)込み)
騰落率	-1.1% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの参考指数は、トムソン・ロイター・グローバル・フォーカスCBインデックス(円ベース)です。

※トムソン・ロイター・グローバル・フォーカスCBインデックス(円ベース)の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

**基準価額の主な変動要因（2018年10月27日から2019年10月28日まで）**

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として世界の企業が発行するC B（転換社債）に投資しました。実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行いませんでした。

**上昇要因**

- 1月から4月にかけて、米中貿易交渉の進展期待による世界的な株価上昇からC B価格が上昇したこと

**下落要因**

- 期首から12月にかけて、米中貿易問題の深刻化による世界的な株価下落からC B価格が下落したこと
- 期を通じては、世界景気の減速懸念から、安全通貨とみられている円が対米ドル、対ユーロとともに円高となったこと

**組入れファンドの状況**

組入れファンド	投資資産	期末組入比率
グローバルC Bファンド(円ヘッジなしクラス)	C B等	97.6%
マネー・マーケット・マザーファンド	短期金融資産	0.0%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について（2018年10月27日から2019年10月28日まで）

C B市場は期を通じてみれば上昇しました。また、為替市場は円が米ドル、ユーロに対して上昇しました。

## C B市場

期首から12月にかけて、C B市場は下落しました。米中貿易問題の長期化や世界経済への悪影響などが嫌気されました。2019年1月から4月にかけては、世界的な株価上昇などを受けてC B価格も上昇しました。米国が中国からの2,000億ドル相当の輸入品に対して、1月から追加の制裁関税を実施する予定でしたが、事前の米中首脳合意により90日間の延期と交渉の継続を発表したことで、米中貿易交渉の進展や世界経済への好影響の期待が高まりました。

5月から期末にかけては、概ね横ばいの動きとなりました。5月初旬や8月初旬に米トランプ大統領が突然、中国への制裁関税を発表して、世界的に株価やC B価格が下落する局面もありましたが、その都度、米中首脳会談の実施や高官協議の継続などで合意したことで、株価やC B価格は反発しました。

7月以降は景気の下支え策として、F O M C（米連邦公開市場委員会）が約10年半ぶりに利下げに転じたことや、世界の主要中央銀行が金融緩和姿勢を継続したことなど

も好感されました。一方で、中国やドイツなど主要国の経済指標の悪化や、英国のE U（欧州連合）離脱問題の迷走などが市場の重石となりました。

当期の市場の動きをU B S・トムソン・ロイター・グローバル・フォーカス・ヘッジドC Bインデックス（米ドルベース）で見ると、期首に比べて7.7%上昇しました。

## 為替市場

期を通してみれば、円は対米ドル、対ユーロとともに円高となりました。主に米中貿易問題の深刻化、長期化を受けて世界の景気減速が懸念され、投資家のリスク回避姿勢が強まる中で、相対的に安全通貨と見なされている円が買われやすい展開となりました。特に12月の中国からの2,000億ドル相当の輸入品に対する米国の制裁関税を巡る交渉や、5月と8月の米トランプ大統領による突然の制裁関税実施の表明などにおいて、円が買われやすい展開となりました。9月から期末にかけては、米中が貿易交渉で部分合意に至るとの見方から円が売られる場面もありましたが、通期の為替

市場の下落幅に対して、戻りは限定的でした。

当期の米ドル・円は、期首の112円47銭から期末108円80銭へと3円67銭の米ドル

安・円高となりました。また、ユーロ・円は、期首の127円83銭から期末120円55銭へと7円28銭のユーロ安・円高となりました。

## ポートフォリオについて（2018年10月27日から2019年10月28日まで）

### 当ファンド

「グローバルC Bファンド（円ヘッジなしクラス）」および「マネー・マーケット・マザーファンド」に投資し、期を通じて「グローバルC Bファンド（円ヘッジなしクラス）」を高位に組み入れました。

### グローバルC Bファンド（円ヘッジなしクラス）

#### ●C B市場

株式的価値と債券的価値のバランスの取れたC Bを選好する観点から、新規発行銘柄を積極的に組み入れました。デュレーション（投資資金の平均回収期間）を市場の代表的な指数と比べてやや短めに維持し、金利リスクを抑制しました。市場の騰落率との比較では、当期の個別銘柄ではサービスナウ（米国：ソフトウェア）やソニー（日本：電機）などがプラスに寄与した一方で、株価やC B価格が上昇したテスラ（米国：電気自動車）やウェイフェア（米国：家具のインターネット販売）の非保有などがマイナス

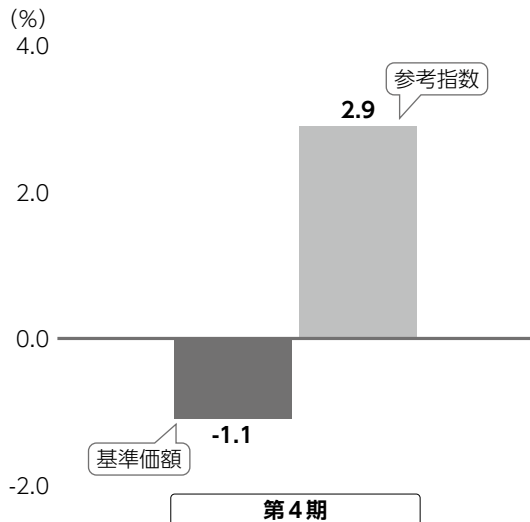
に寄与しました。また、期末時点のセクター構成比では、情報技術や素材、医薬品・バイオテクノロジーなどを多く組み入れています。

### マネー・マーケット・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、流動性の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について（2018年10月27日から2019年10月28日まで）

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



当ファンドは運用の指標となるベンチマークはありませんが、参考指数としてトムソン・ロイター・グローバル・フォーカスC Bインデックス（円ベース）を設けています。

左のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

※基準価額は分配金再投資ベース

分配金について（2018年10月27日から2019年10月28日まで）

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第4期
当期分配金	—
（対基準価額比率）	（－％）
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	20

当期の分配は、基準価額水準等を勘案し、見送りとしたしました。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

引き続き、「グローバルCBファンド(円ヘッジなしクラス)」を高位に組み入れて運用を行います。

### グローバルCBファンド(円ヘッジなしクラス)

#### ●CB市場

引き続き、業績や財務内容などの基礎的諸条件が健全で、業績成長による値上り期待が見込める一方で、財務力や信用面から下値に対して抵抗力のある魅力的な銘柄を、新規・既存いずれのCBからも注目していきます。

景気の減速懸念から主要な中央銀行が金融緩和姿勢を続ける中で、保護主義的な政策やポピュリズム(大衆迎合主義)の強まりなどから、一時的に値動きの荒い展開も予想されますが、短期的な動きに捉われず、中期的に安定した収益の獲得を目指します。

新規発行については、比較的高水準が続く可能性は高いとみています。世界的な低金利環境に加えて、普通社債に比べて株式の魅力も併せ持つことで企業が金利負担を軽減できるCBの新規発行が増えると考えられます。特に最近の欧州では、マイナス金利での発行もみられます。また株式投資との比較では、主要株式市場が既に高値圏

との見方も一部にあるため、CBが内包する社債の性格としての株価下落リスクに対する下値抵抗力の魅力が徐々に高まってくると考えられます。

今後のCBの運用方針としては、ポートフォリオ内の新規発行銘柄と既存銘柄のバランスを考慮しながら、値上り期待が高い一方で、下値抵抗力も高いとみる銘柄で運用していく方針ですが、当面は不透明要因が多いことから、比較的慎重な投資姿勢を維持する予定です。

### マネー・マーケット・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、流動性の確保などを目指した運用を目指します。



## 3 お知らせ

### 合併について

三井住友アセットマネジメント株式会社は、2019年4月1日に大和住銀投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三井住友DSアセットマネジメント株式会社に変更しました。

### 約款変更について

委託会社の合併に伴う商号変更および電子公告アドレスの変更に対応するため、所要の変更を行いました。

(適用日：2019年4月1日)

## ■ 1万口当たりの費用明細（2018年10月27日から2019年10月28日まで）

項 目	金 額	比 率	項 目 の 概 要
(a) 信 託 報 酬 （投 信 会 社） （販 売 会 社） （受 託 会 社）	101円 （ 27） （ 71） （ 3）	1.106% (0.299) (0.774) (0.033)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数） 投信会社：ファンド運用の指図等の対価 販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 （監 査 費 用） （そ の 他）	1 （ 0） （ 0）	0.007 (0.005) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用 そ の 他：信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	102	1.113	

期中の平均基準価額は9,146円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

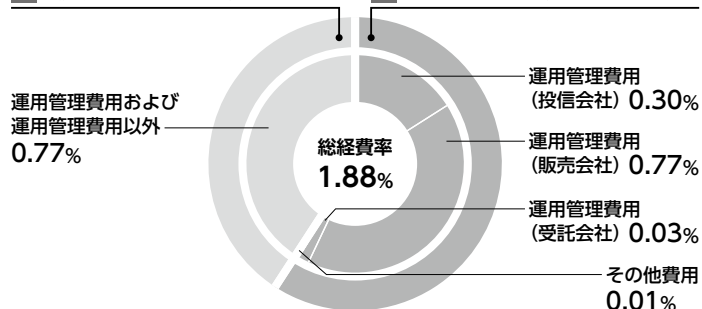
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託の費用は後掲の「損益及び純資産変動計算書」をご覧ください。

## ■ 参考情報 総経費率（年率換算）

2 投資先ファンドの費用 0.77%      1 当ファンドの費用 1.11%



総経費率（1 + 2）		1.88%
1 当ファンドの費用の比率		1.11%
2 投資先ファンドの費用の比率		0.77%

## 日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCBファンド（為替ヘッジなし）

※1の各費用は、掲掲「1万円当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万円当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※2の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※1と2の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率（年率）は1.88%です。

### ■ 当期中の売買及び取引の状況（2018年10月27日から2019年10月28日まで）

#### 投資信託証券

		買		付		売		付	
		口	数	買	付	口	数	売	付
				額				額	
国内	グローバルCBファンド（円ヘッジなしクラス）	口	数	千円	額	口	数	千円	額
			3,704	35,000		79,181		776,000	
合 計			3,704	35,000		79,181		776,000	

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

### ■ 利害関係人との取引状況等（2018年10月27日から2019年10月28日まで）

#### 利害関係人との取引状況

#### 日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCBファンド（為替ヘッジなし）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

#### マネー・マーケット・マザーファンド

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D C
公 社 債	百万円 65	百万円 17	% 26.2	百万円 -	百万円 -	% -

※平均保有割合 0.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

## 日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルC Bファンド（為替ヘッジなし）

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年10月27日から2019年10月28日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

### ■ 組入れ資産の明細 (2019年10月28日現在)

#### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	期首 (前期末)	期		末
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
グローバルC Bファンド (円ヘッジなしクラス)	270,557	195,080	1,919,591	97.6
合 計	270,557	195,080	1,919,591	97.6

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

#### (2) 親投資信託残高

種 類	期 首 (前期末)	期		末
	口 数	口 数	評 価 額	評 価 額
マネー・マーケット・マザーファンド	419	419	419	419

※マネー・マーケット・マザーファンドの期末の受益権総口数は77,161千口です。

※単位未満は切捨て。

### ■ 投資信託財産の構成

(2019年10月28日現在)

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	1,919,591	96.5
マネー・マーケット・マザーファンド	419	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	69,432	3.5
投 資 信 託 財 産 総 額	1,989,442	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2019年10月28日現在）

項 目	期 末
(A) 資 産	1,989,442,957円
コール・ローン等	69,432,118
投資信託受益証券(評価額)	1,919,591,145
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	419,694
(B) 負 債	21,786,537
未払解約金	9,994,870
未払信託報酬	11,732,693
未払利息	114
その他未払費用	58,860
(C) 純資産総額(A-B)	1,967,656,420
元 本	2,148,773,387
次期繰越損益金	△ 181,116,967
(D) 受益権総口数	2,148,773,387口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,157円

※当期における期首元本額2,936,632,461円、期中追加設定元本額1,065,171円、期中一部解約元本額788,924,245円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額（元本の欠損）となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	当 期
	－円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

## ■ 損益の状況

（自2018年10月27日 至2019年10月28日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 22,849円
支 払 利 息	△ 22,849
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,825,056
売 買 損 益	7,602,457
売 買 損 益	△ 5,777,401
(C) 信 託 報 酬 等	△ 25,438,732
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 23,636,525
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 152,771,669
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 4,708,773
(配 当 等 相 当 額)	( 36,064)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 4,744,837)
(G) 計 (D+E+F)	△ 181,116,967
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	△ 181,116,967
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 4,708,773
(配 当 等 相 当 額)	( 36,064)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 4,744,837)
分 配 準 備 積 立 金	4,441,483
繰 越 損 益 金	△ 180,849,677

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※期末における、費用控除後の配当等収益（0円）、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益（0円）、信託約款に規定される収益調整金（36,064円）および分配準備積立金（4,441,483円）より分配可能額は4,477,547円（1万口当たり20円）ですが、分配は行っておりません。

## ■ 組入れ投資信託証券の内容

### 投資信託証券の概要

ファンド名	グローバルCBファンド（円ヘッジなしクラス）
形態	ケイマン籍外国投資信託（円建て）
主要投資対象	世界の企業が発行する転換社債
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として、世界の企業が発行する転換社債等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。</li> <li>・原則として対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>
ベンチマーク （参考指数）	トムソン・ロイター・グローバル・フォーカスCBインデックス（円ベース）
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同一発行体の発行する転換社債等への投資割合は、原則としてファンドの純資産総額の10%以内とします。</li> <li>・純資産総額の10%を超える借入れは行いません。</li> <li>・非流動性資産への投資は、純資産総額の15%以下とします。</li> </ul>
決算日	年1回決算（原則として、毎年2月末日）
分配方針	毎年10月15日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行う方針。ただし、分配を行わないことがあります。
運用報酬等	純資産総額に対して年0.6425% ただし、年間最低報酬額との関係で純資産総額によっては上記の料率を上回る場合があります。
管理および その他の費用	ファンドの設立、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。 その他の費用・手数料については、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	なし
信託財産留保額	一部解約時に0.3%
投資顧問会社	エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・アセット・マネジメント（フランス）
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「グローバルCBファンド（円ヘッジなしクラス）」をシェアクラスとして含む「グローバルCBファンド」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

■ 損益及び純資産変動計算書（2018年3月1日から2019年2月28日まで）

（表示通貨：日本円）

収益	
利息（債券）	33,727,067
銀行利息	732,881
その他収益	5,970,030
収益合計	<u>40,429,978</u>
費用	
投資運用報酬	25,501,898
管理事務代行報酬	3,182,178
保管報酬	2,038,254
印刷および広告費	1,678,668
受託会社報酬	1,661,197
専門家費用	1,656,980
管理報酬	1,529,780
弁護士費用	710,787
保護預り手数料	462,563
取引費用	431,613
ファンド設立費用償却	115,000
登録手数料	10,711
その他費用	2,442,448
費用合計	<u>41,422,077</u>
投資純損失	<u>(992,099)</u>
実現純損益：	
投資有価証券	57,138,620
先物取引	(846,556)
外為取引	(4,940,374)
為替先渡契約	(40,950,667)
オプション取引	(50,047,836)
投資純損失および実現純損失（当期）	<u>(40,638,912)</u>
未実現損益の純変動：	
オプション取引	6,874,182
先物取引	680,403
為替先渡契約	(27,828,574)
投資有価証券	(77,238,477)
運用の結果による純資産の純減少	<u>(138,151,378)</u>
資本の変動	
受益証券追加信託	220,000,000
受益証券買取	(1,988,970,030)
資本の純変動	<u>(1,768,970,030)</u>
期首純資産額	<u>6,252,332,346</u>
期末純資産額	<u>4,345,210,938</u>

日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCBファンド (為替ヘッジなし)

■ 投資明細表 (2019年2月28日現在)

数量	銘柄	通貨	帳簿価額 (日本円)	時価 (日本円)	比率* (%)
公認の証券取引所あるいは他の規制で運営される市場で譲渡可能な有価証券債券					
60,000,000	AEON FIN SERVICE 0 CV 13SEP19 SER1	日本円	63,788,000	60,046,200	1.38
500,000	AGEASFINLUX SA FRN CV PERP REGS	ユーロ	42,262,916	34,299,186	0.79
200,000	AIRBUS GROUP SE 0 CV 14JUN21 AMFP	ユーロ	31,614,589	29,931,473	0.69
600,000	AKAMAI TECHNOLOGI 0.125 CV 01MAY25	米ドル	66,492,227	65,416,693	1.51
900,000	AMERICA MOVIL SAB 0 CV 28MAY20	ユーロ	122,875,840	112,553,059	2.59
400,000	AMS AG 0 CV 05MAR25 SER AMS	ユーロ	53,707,414	33,206,974	0.76
400,000	AMS AG 0.875 CV 28SEP22	米ドル	44,923,921	33,704,726	0.78
30,000,000	ANA HOLDINGS 0 CV 16SEP22 SER9202	日本円	31,329,000	30,432,600	0.70
30,000,000	ANA HOLDINGS 0 CV 19SEP24 SER9202	日本円	32,075,000	30,868,200	0.71
160,000	ATLASSIAN INC 0.625 CV 1MAY23	米ドル	21,271,843	25,313,201	0.58
600,000	BAYER AG CV 0.05 15JUN20 SER 1COV	ユーロ	81,675,920	75,505,247	1.74
700,000	BENI STABILI SPA 0.875 CV 31JAN21	ユーロ	96,682,446	89,428,584	2.06
750,000	BIOMARIN PHARMA 1.5 CV 15OCT20	米ドル	101,318,834	96,934,271	2.23
390,000	BOOKING HOLDINGS INC 0.9 CV 15SEP21	米ドル	50,498,624	49,660,879	1.14
500,000	BRITISH LD 2015 0 CV 09JUN20 BLND	英ポンド	96,713,244	71,709,689	1.65
300,000	CELLNEX TELECOM 1.5 CV 16JAN26 CLNX	ユーロ	40,335,546	38,311,403	0.88
600,000	CHINA OVERS INVSMT 0.00 CV 05JAN23	米ドル	72,601,182	72,350,245	1.67
250,000	CHINA RAILWAY CONSTR 0 CV 29JAN21	米ドル	30,572,170	33,101,946	0.76
30,000,000	CHUGOKU ELEC POWER 0 CV 24JAN20	日本円	30,815,000	31,587,300	0.73
30,000,000	CHUGOKU ELEC POWER 0 CV 25JAN22	日本円	30,830,000	32,901,300	0.76
200,000	CP FOODS HLDGS LTD 0.5 CV 22SEP21	米ドル	24,343,845	24,812,319	0.57
950,000	CTRP.COM INTL LTD 1.0 CV 01JUL20	米ドル	104,730,742	102,061,808	2.35
200,000	DEXCOM INC 0.75 CV 01DEC23	米ドル	22,772,519	24,448,025	0.56
1,200,000	DP WORLD LTD 1.75 CV 19JUN24	米ドル	158,322,822	127,323,401	2.93
9,783	ELIS SA 0.00 CV 06OCT23 ELIS	ユーロ	41,828,935	36,025,385	0.83
172,000	FORTIVE CORPORAT 0.875 CV 15FEB22	米ドル	19,503,518	19,904,193	0.46
600,000	GLENCORE FUNDING 0 CV 27MAR25 EMTN	米ドル	59,962,120	59,112,014	1.36
4,000,000	HARVEST INTERNATL 0.00 CV 21NOV22	香港ドル	59,928,105	57,171,636	1.32
600,000	HON HAI PRECISION 0.00 CV 06NOV22	米ドル	68,884,951	62,056,946	1.43
650,000	II-VI INC 0.25 CV 01SEP22	米ドル	74,272,105	80,135,200	1.84
315,000	ILLUMINA INC 0.5 CV 15JUN21	米ドル	47,471,481	47,409,785	1.09
500,000	INTL CONSOLID AIRL 0.25 CV 17NOV20	ユーロ	56,540,335	62,121,521	1.43
1,110,000	JAZZ INVEST CV 1.875 15AUG21	米ドル	136,329,574	123,963,853	2.85
400,000	JP MORGAN CHASE BANK 0 CV 11JAN21 DUFn	米ドル	44,157,718	43,227,335	0.99
500,000	JP MORGAN CHASE BANK CV 0 30DEC20	米ドル	56,167,513	60,429,810	1.39
600,000	JP MORGAN CHASE FIN CV 0.25 01MAY23	米ドル	65,553,013	64,468,066	1.48
40,000,000	KANSAI PAINT 0 CV 17JUN22	日本円	42,852,000	40,439,200	0.93
800,000	LG CHEM LTD 0 CV 16APR21 SER USD	米ドル	85,516,056	90,773,016	2.09
758,000	LIBERTY EXPEDIA HOLD 1 CV 30JUN47	米ドル	86,825,641	83,020,171	1.91
212,000	LIGAND PHARMA 0.75 CV 15MAY23	米ドル	23,141,102	20,456,874	0.47
600,000	LIVE NATION ENT CV 2.5 15MAR23	米ドル	65,158,901	74,175,038	1.71
168,000	LUMENTUM HLDGS INC CV 0.25 15MAR24	米ドル	22,738,022	20,432,663	0.47



日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCBファンド (為替ヘッジなし)

数量	銘柄	通貨	帳簿価額 (日本円)	時価 (日本円)	比率* (%)
5,132	MAISONS DU MONDE 0.125 CV 06DEC23	ユーロ	33,775,052	28,802,126	0.66
400,000	MEDICINES CO 2.75 CV 15JUL23	米ドル	43,095,987	35,892,706	0.83
102,000	MERCADOLIBRE INC 2 CV 15AUG28	米ドル	11,263,341	13,482,652	0.31
871,000	MICROCHIP TECHNO 1.625 CV 15FEB27	米ドル	98,233,554	111,125,463	2.56
90,000,000	MITSUBISHI CHEMICAL 0 CV 29MAR24	日本円	92,840,000	91,255,500	2.10
90,000,000	MITSUBISHI CHEMICAL 0 CV 30MAR22	日本円	92,560,000	90,448,200	2.08
100,000	MTU AERO ENG 0.125 CV 17MAY23 MTX	ユーロ	18,700,314	20,011,904	0.46
103,000	NEW RELIC INC 0.50 CV 01MAY23	米ドル	13,000,133	13,370,278	0.31
1,232,000	NUANCE COMMUNICATIONS 1 CV 15DEC35	米ドル	152,618,175	127,018,192	2.92
182,000	NUTANIX INC 0 CV 15JAN23	米ドル	24,405,850	24,862,861	0.57
368,000	NUVASIVE INC 2.25 CV 15MAR21	米ドル	52,058,451	45,640,397	1.05
200,000	OUTOKUMPU OYJ 3.25 CV 26FEB20 OUT1	ユーロ	25,045,475	25,322,266	0.58
706,000	PALO ALTO NETWORKS 0.75 CV 01JUL23	米ドル	78,686,727	88,531,618	2.04
900,000	PRYSMIAN SPA 0 CV 17JAN22	ユーロ	109,636,347	106,736,378	2.46
800,000	QIAGEN NV 0.50 CV 13SEP23	米ドル	87,463,247	98,300,872	2.26
200,000	QIAGEN NV 1 CV 13NOV24	米ドル	22,652,991	23,657,613	0.54
100,000	RAG-STIFTUNG 0 CV 02OCT24 EVK	ユーロ	13,357,772	12,457,894	0.28
100,000	RAG-STIFTUNG 0 CV 18FEB21 EVK	ユーロ	14,653,674	12,698,082	0.29
2,141	SAFRAN SA 0 CV 21JUN23 SER SAF	ユーロ	38,266,922	41,443,134	0.95
40,000,000	SBI HOLDINGS INC 0 CV 13SEP23	日本円	43,538,000	41,378,400	0.95
158,000	SERVICENOW INC 0 CV 01JUN22	米ドル	17,746,240	31,650,143	0.73
100,000,000	SHIMIZU CORP 0 CV 16OCT20	日本円	108,500,000	100,218,000	2.31
20,000,000	SHIP HEALTHCARE 0 CV 13DEC23	日本円	20,600,000	20,850,200	0.48
119,000,000	SONY CORPORATION 0 CV 30SEP22 6	日本円	128,072,810	147,226,800	3.39
192,000	SPLUNK INC 0.50 CV 15SEP23	米ドル	21,566,398	23,990,007	0.55
400,000	STMICROELECTRONICS 0 CV 03JUL22 A	米ドル	48,032,857	47,635,203	1.10
60,000,000	SUMITOMO METAL MINING 0 CV 15MAR23	日本円	62,800,000	59,313,000	1.37
394,000	SUPERNUS CV 0.625 01APR23 144A	米ドル	43,208,376	44,521,930	1.02
300,000	TAIWAN CEMENT CORP 0.00 CV 10DEC23	米ドル	34,348,637	35,604,749	0.82
30,000,000	TELJIN LTD 0 CV 10DEC21	日本円	34,479,000	32,835,600	0.76
300,000	TELECOM ITALIA SPA 1.125 CV 26MAR22	ユーロ	35,143,687	36,151,948	0.83
254,000	TERADYNE INC 1.25 CV 15DEC23	米ドル	35,195,951	40,276,731	0.93
200,000	TOP GLOVE LAB LTD 2.00 CV 01MAR24	米ドル	22,171,154	21,538,991	0.50
50,000,000	TORAY INDUSTRIES INC 0 CV 30AUG19	日本円	57,453,000	50,206,000	1.16
20,000,000	TORAY INDUSTRIES INC 0 CV 31AUG21	日本円	22,210,000	21,839,200	0.50
175,000	VIPSHOP HLDG LTD 1.5 CV 15MAR19	米ドル	18,602,396	19,228,971	0.44
366,000	WEIBO CORP 1.25 CV 15NOV22	米ドル	43,136,189	39,038,825	0.90
債券合計			4,328,503,441	4,195,794,269	96.56
公認の証券取引所あるいは他の規制で運営される市場で譲渡可能な有価証券 その他譲渡可能な有価証券			4,328,503,441	4,195,794,269	96.56
30,000,000	CYBERAGENT INC 0 CV 17FEB23	日本円	31,395,000	29,967,300	0.69
その他譲渡可能な有価証券合計			31,395,000	29,967,300	0.69
投資有価証券合計			4,359,898,441	4,225,761,569	97.25

(\*) 百分率で表示された純資産総額に対する時価の比率

# マネー・マーケット・マザーファンド

第8期 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2011年5月31日)
運用方針	主として、円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

## ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入 比率	純資産 総額
	円	騰落率		
4期(2015年3月2日)	10,035	0.1%	98.5%	97
5期(2016年3月1日)	10,039	0.0	84.3	93
6期(2017年3月1日)	10,033	△0.1	66.0	137
7期(2018年3月1日)	10,025	△0.1	76.9	90
8期(2019年3月1日)	10,019	△0.1	74.1	89

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## ■当期中の基準価額と市況等の推移

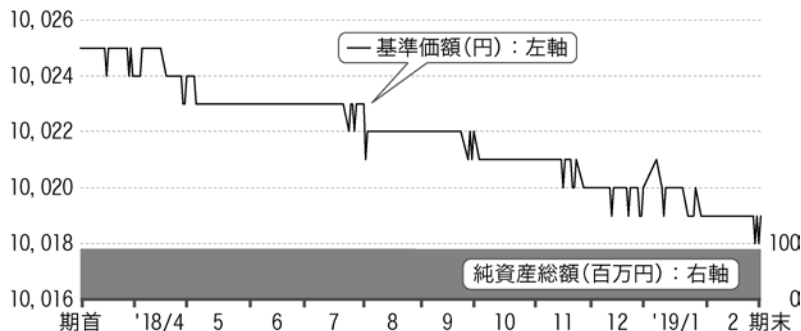
年月日	基準価額		債券組入 比率
	円	騰落率	
(期首) 2018年3月1日	10,025	—%	76.9%
3月末	10,024	△0.0	76.8
4月末	10,024	△0.0	77.1
5月末	10,023	△0.0	76.9
6月末	10,023	△0.0	76.9
7月末	10,023	△0.0	77.0
8月末	10,022	△0.0	77.5
9月末	10,022	△0.0	77.4
10月末	10,021	△0.0	77.3
11月末	10,020	△0.0	74.1
12月末	10,020	△0.0	74.0
2019年1月末	10,019	△0.1	73.9
2月末	10,018	△0.1	54.9
(期末) 2019年3月1日	10,019	△0.1	74.1

※騰落率は期首比です。

## 1 運用経過

### ▶ 基準価額等の推移について (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

#### 基準価額等の推移



期首	10,025円
期末	10,019円
騰落率	-0.1%

### ▶ 基準価額の変動要因 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

#### 下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

### ▶ 投資環境について (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

当期の短期金利は小幅上昇しましたが、マイナス圏での推移は継続しました。

物価上昇率が目標とする2%まで乖離がある状態が続いたことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

日銀は需給動向を勘案しながら短期国債の買入れを調整したことから、国庫短期証券3ヵ月物利回りはマイナス圏でのレンジ推移となりました。国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首-0.200%に対し、期末には-0.180%へ小幅上昇しました。

▶ ポートフォリオについて (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月の円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを継続しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## 2 今後の運用方針

日銀によるマイナス金利政策が継続され、短期国債利回りやコールローン翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏で推移しています。

残存0年から1年3ヵ月の公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

### ■ 1万口当たりの費用明細 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	1円 (1)	0.013% (0.013)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	1	0.013	

期中の平均基準価額は10,021円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

### ■ 当期中の売買及び取引の状況 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	特 殊 債 券	千円 66,995	千円 — (69,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※( )内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■ 利害関係人との取引状況等 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2018年3月2日から2019年3月1日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## ■ 組入れ資産の明細 (2019年3月1日現在)

公社債

A 債券種類別開示／国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
	千円	千円	%	%	5年以上	2年以上	2年未満
特 殊 債 券 ( 除 く 金 融 債 )	66,000 (66,000)	66,582 (66,582)	74.1 (74.1)	— (—)	— (—)	— (—)	74.1 (74.1)
合 計	66,000 (66,000)	66,582 (66,582)	74.1 (74.1)	— (—)	— (—)	— (—)	74.1 (74.1)

※( )内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※—印は組入れなし。

B 個別銘柄開示／国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	期		末	
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特 殊 債 券 ( 除 く 金 融 債 )	第5回 政府保証阪神高速道路債券	1.3	17,000	17,238	2020/3/18
	第8回 政府保証地方公営企業等金融機構債券	1.5	16,000	16,056	2019/5/24
	第95回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.2	17,000	17,173	2019/12/27
	第3回 政府保証地方公共団体金融機構債券	1.5	16,000	16,113	2019/8/16
合 計		—	66,000	66,582	—

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## ■ 投資信託財産の構成

(2019年3月1日現在)

項 目	期		末	
	評 価 額	比 率	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 66,582	% 62.2		
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	40,473	37.8		
投 資 信 託 財 産 総 額	107,055	100.0		

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年3月1日現在)

項目	期 末
(A) 資 産	107,055,375円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	40,251,327
公 社 債 ( 評 価 額 )	66,582,000
未 収 利 息	222,048
(B) 負 債	17,239,090
未 払 金	17,238,850
未 払 利 息	33
そ の 他 未 払 費 用	207
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	89,816,285
元 本	89,650,363
次 期 繰 越 損 益 金	165,922
(D) 受 益 権 総 口 数	89,650,363口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 ( C / D )	10,019円

※当期における期首元本額90,260,179円、期中追加設定元本額76,811,023円、期中一部解約元本額77,420,839円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

日興ワールドCBファンド(通貨アルファ戦略コース)	8,495,310円
日興ワールドCBファンド(円ヘッジありコース)	2,445,519円
日興ワールドCBファンド(円ヘッジなしコース)	1,548,154円
インド内需関連株式ファンド	119,759円
高成長インド・中型株式ファンド	17,711,132円
アジア好利回りリート・ファンド	99,971円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)	7,742,960円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)	1,337,053円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/3カ月決算型)	4,909,194円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/3カ月決算型)	1,456,790円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし)	14,208,735円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(固定為替ヘッジ)	1,237,272円
三井住友・ニュー・アジア・ファンド	369,177円
アジア好利回りリート・ファンド(年1回決算型)	997円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし/年2回決算型)	1,187,376円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(固定為替ヘッジ/年2回決算型)	389,132円
日興フィデリティ世界企業債券ファンド(為替ヘッジあり)	209,527円
日興フィデリティ世界企業債券ファンド(為替ヘッジなし)	179,593円
日興エドモン・ドゥ・ロスタイルド・グローバルCBファンド(為替ヘッジあり)	289,352円
日興エドモン・ドゥ・ロスタイルド・グローバルCBファンド(為替ヘッジなし)	419,066円
アジア高利回り現地通貨建て債券ファンド(毎月分配型)	9,963円
アジア高利回り現地通貨建て債券ファンド(資産成長型)	9,963円
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	4,140,881円
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	11,065,647円
グローイング・フロンティア株式ファンド	2,185,185円
高成長インド・中型株式ファンド(年1回決算型)	7,882,655円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

(自2018年3月2日 至2019年3月1日)

項目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	974,849円
受 取 利 息	985,681
支 払 利 息	△ 10,832
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 1,021,170
売 損	△ 1,021,170
買 損	
(C) 信 託 報 酬 等	△ 12,121
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	△ 58,442
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	225,710
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	168,977
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 170,323
(H) 計 ( D + E + F + G )	165,922
次 期 繰 越 損 益 金 ( H )	165,922

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ■ お知らせ

### <約款変更について>

該当事項はございません。